

校長室だより



岸和田市立浜小学校のホームページにも掲載しています

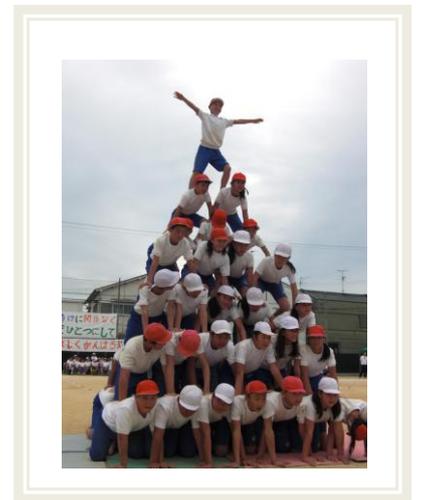
岸和田市立浜小学校 渡瀬 克美

今年も素晴らしい運動会を創り上げることができました。ご声援ありがとうございました。

10月2日(日)少し肌寒いくらいの絶好の天気で、運動会が無事終わりました。

今年も「子どもの、子どもによる、子どものための運動会」を目指し取り組んで参りましたが、いかがでしたでしょうか。

浜小学校では、子どもたちが、運動会で競技をしたり、表現したりするだけでなく、児童会を中心に準備から司会・進行、片付け、そして、反省会までを子どもたち自身の手で行うことを目標に取り組んできました。それは、「自分たちの運動会」をイメージさせるためには、部分的に仕事をさせるだけではなく、「トータルに」仕事をさせない限り意識できないだろうと考えたからです。きっと保護者の皆さんも子どもたちが準備や片付けで懸命に働き、ラインを引き、決勝テープなどをもち、わがもの顔で働いている姿にたくましさを感じたことでしょう。「高学年になったら僕たち・私たちもしっかり働くんだ」という伝統が根付いてきていること本当にうれしく思います。



このようなカこそが「生きる力」につながると確信します。

子どもの感想 (抜粋)

練習が始まってから2カ月。ピラミッドをしなつたはずが、友達がピラミッドを作りたいと言って全部考えて、5年生の子にも手伝ってもらって完成しました。去年は自分たちがしんどいところで頑張ってたのに、最後の運動会にピラミッドがないといややーとみんなが言って先生たちについて作らせてもらいました。…みんなケンカもしなくてよかったです。(子どもたちの願いで創り上げたピラミッド。ここにも子どもが主役の姿があります。うれしいです。)

保護者の方からの感想

運動会、とても楽しかったです。お陰で娘の楽しそうな姿や成長を見るがことができました。高学年のお子さんたちの、準備や片付け、競技の運営等の大活躍にとても驚きました。子どもたち主導のステキな運動会を家族で楽しませていただきました。(浜小学校の運動会の目玉をしっかりとみていただきとても嬉しいです。ありがとうございました。)

PTAの企画委員会のみなさんをはじめ、保健補導・広報委員会の皆さんには大変お世話になりました。また、保護者の皆さんにもたくさんのご協力・ご支援・ご声援を賜り深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

浜の子ってすごい！

ステキだ！先生たちも！



10月26日(水)今年も6年生が岸和田市連合音楽会に出演し、素晴らしい歌と演奏と感動を与えてくれました。

思い起こせば、昨年(今年)の10月の連合音楽会、浜からは一念発起の6年生が「天使の歌声」を浪切り大ホールに響かせてくれました。そして、12月の校内音楽会、正直言って5年(今の6年)はかなり厳しいものがありました。しかし、浜の先生たちは「来年の連音も6年生を出してやろう」「連合音楽会を目標に、子どもたちを育てていこう!」「厳しいからこそ、チャンスを!」「精一杯応援しよう」と考え、今年度の4月には「連音には6年生を」と決めていました。そして、音楽の島村先生を中心に担任はもとより、パーカッションを教頭先生に、アレンジを支援学級の田中先生にも助けていただき、歌「島人ぬ宝」「江〜姫たちの戦国〜メインテーマ」を見事に完成させたのでした。ここに至るまでの苦労は一言では語れません。40人の心を一つにまとめて一つの方向に向かわせることのしんどさ、クラブなら、同好会なら、そのつもりできている集団ですが、音楽嫌いもいれば、授業を受けたくない子もいる、楽器をおもちゃのように叩く子もいる。そんな中での半年間でした。先生たちにも本当に感謝。ありがとう。最終的には、先生たちの本気に応えた子どもたちの「力」の成果でした。子どもたちが真剣に歌と合奏に向き合って、ハーモニーの気持ちよさや「ぴたっ」と合う合奏の心地よさを感じ、また、演奏者にしか分からない「達成感」を身体全体で感じ、音楽を楽しめたからこそ大成功したのだと思います。初めは楽譜どおりにできることがバロメータですが、楽譜に書いていないことを表現していくことの楽しさも感じたのではないのでしょうか。さすが、浜の子です。リズム感抜群。きっと自分に誇りと自信を持てたことでしょう。

私は今回の音楽会への取り組みを通して次の3点を改めて学びました。

- ① 音楽はその芸術性の高さが演奏者や聴く人の心に響く。歌はその歌詞を聴いて共感する。
- ② 音楽の取り組みを通して、クラスや一人ひとりの心が一つになることができる。
- ③ 合唱や合奏は自分も他人もうまくなっていくことがよく分かる。このことで自信につながる。

最後に歌詞について、少し触れてみます。

「島人ぬ宝」では、「♪ ぼくが生まれたこの島の海を ぼくはどれくらい知っているんだろう ♪」「♪ 汚れてくサンゴも へっていく魚 ♪」は、私たちも浜の子どもたちも大阪湾(ちぬの海)のことをどれくらい知っているのだらうと重ねて聴きました。「♪ 大切なものをもっと深く知っていたい しまんちゅぬ たから ♪」まさに歌詞のとおりです。大阪湾のこと、岸和田のこと、大阪のことを深く知っていたいものです。